

第一部

12時30分開場
13時00分開演

狂言

饅頭

【まんじゅう】

山本 則孝 (大蔵流)

能

源氏供養

【げんじくよう】

観世 恭秀 (観世流)

能「源氏供養」観世恭秀 (撮影:前島久男)

第128回

川崎市定期能

2023年3月11日(土) 会場:川崎能楽堂

入場料(全席指定):各部 正面席 4,500円、脇正面・中正面席 4,000円

U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。来場時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

能

鶺鴒

【うかい】

田邊 哲久 (観世流)
岡本 房雄 (観世流)

狂言

千鳥

【ちどり】

山本 泰太郎 (大蔵流)

第二部

15時30分開場
16時00分開演



能「鶺鴒」田邊哲久 (撮影:前島吉裕)



■チケット発売 2023年2月6日(月)10:00より発売(先着順)

■販売方法
*取扱い座席は全て共通です。

電話申込

- ①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995(10:00~17:00、水曜日休日)
- ②カンフェティ TEL.0120-240-540(平日10:00~18:00) *②は席種のみ指定可。座席選択はできません。
- *①・②共にセブンイレブンでの支払・引取、またサービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。

インターネット申込

- カンフェティ https://confetti-web.com/kbz_noh128
- *事前会員登録が必要です(登録無料)。
- *クレジット決済・セブンイレブン支払が選択でき、引取はセブンイレブンになります。
- *サービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。

窓口申込
※2月7日から

- 川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37(10:00~17:00、水曜日休日)
- *残数があれば2月7日(火)10:00より販売いたします。*支払いは現金のみになります。



カンフェティ



川崎市文化財団

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

後援「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後にご入場いただけない場合がございます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので

予めご了承ください。

*新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします(詳細は川崎市文化財団ホームページをご確認ください)。



KAWASAKI SDGs

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

定期能をより楽しむための
事前講座

- ◆日時:2023年3月4日(土)13:00~14:30 ◆会場:川崎能楽堂
- ◆講師:田邊哲久(観世流・シテ方)、岡本房雄(観世流・シテ方)
- ◆定員:148名(先着順) ◆料金:無料

*第128回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。

*受講をご希望の方はチケットご購入の際にお申し出いただくか申込フォームよりお申し込みください。



事前講座申込フォーム

【第一部】13時開演（12時30分開場）

14時45分頃終演

狂言 饅頭

シテ大名 山本 則孝
アド 饅頭売り 山本凜太郎

能
源氏供養
ワキ安居院法印 殿田 謙吉
後シテ 紫式部の幽霊 観世 恭秀

ワキツレ 従僧 御厨 誠吾

後見 大松 洋一 武田 祥照 木原 康之
寺井 榮 地謡 高梨 万里 武田 尚浩
勝海 登 北浪 貴裕 関根 知孝
津田 和忠

狂言 饅頭【まんじゅう】

訴訟のために長い間、都に滞在していた大名がようやく望みが叶って国元へ帰ることになります。土産を探そうと市へ出掛け、あれこれ見て回っているところに饅頭売りが声を掛けます。ところが大名は当時流行の「饅頭」という物を知らず…。

能 源氏供養【げんじくよう】

安居院の法印（ワキ）が石山寺の観世音へ参詣する途中で、里の女（前シテ）に呼び止められます。女は法印に『源氏物語』の主人公、光源氏を供養してほしいと頼み、自分が紫式部であることをほめかして失せます。（中人）

法印が石山寺で『源氏』を供養し、紫式部を吊っていると、紫式部の幽霊（後シテ）が現れ、供養の礼に舞を舞い、さらに『源氏物語』の巻名を織り込んで世の無常と弥陀の救いを語り舞います。法印は、じつは紫式部が石山観世音の化身であり、『源氏物語』はこの世が夢であることを世に知らせる方便であったと知ります。

【第二部】16時開演（15時30分開場）

17時35分頃終演

狂言 千鳥

シテ太郎冠者 山本泰太郎
アド 酒屋 山本 則孝

能
鶺鴒飼
ワキ旅僧 則久 英志
後シテ 閻魔王 岡本 房雄

ワキツレ 旅僧 御厨 誠吾

アイ里人 山本凜太郎
後見 勝海 登 木原 康太 大松 洋一
寺井 榮 地謡 武田 祥照 津田 和忠
北浪 貴裕 高梨 万里 武田 尚浩
木原 康之

狂言 千鳥【ちどり】

久しく酒屋への支払いが滞っている主人（アド）。しかし今夜もお客を呼んで酒宴の予定。口切（最初に酒樽の口を開けて飲むこと）をさせることを条件に、渋る太郎冠者（シテ）を使いに出します。案の定、酒屋（アド）から代金を催促されますが、今日買う一樽分の代金は持参したからと言って、亭主に酒樽を持ってこさせます。太郎冠者は主人のお供で尾張の津島祭を見物に行つて来たと言い、祭りの様子を聞きたくてたまらない酒屋を話に引つ張り込みます…。

能 鶺鴒飼【うかい】

安房の国清澄の僧（ワキ）が従僧（ワキツレ）と共に甲斐国の石和川に着き、里人（アイ）に一夜の宿を乞うが断られ、仕方なく川の辺りの怪しげな御堂に泊まります。そこへ鶺鴒使の老人が松明をかかげ、川を上ってきます。従僧が声をかけると、それは以前接待を受けた宿の老人でした。しかし今はすでに死んで地獄に堕ちている亡者であると言い、更に自分は禁漁区で漁をして見つかり川に沈められ殺されたと言語ります。そして懺悔の為に鶺鴒を使う様を見せよという僧の言葉に従って、生前そのままに鶺鴒をして見せ、やがて闇の中に消えていきます。（中人）

僧が川原の石一つ一つに法華経を書き、川に沈めて弔うと、地獄の閻魔王（後シテ）が現れます。閻魔王は、「あの鶺鴒は罪多く地獄へ堕ちるはずであったが、僧を接待したことと法華経の功德によりこれから極楽浄土に送る」と告げ、法華経の有難さを讃えます。

次回公演のお知らせ

人間国宝の競演

～友枝昭世と山本東次郎の至芸～

開催日：2023年5月3日（水・祝）

会場：川崎市麻生市民館大ホール

（小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分）

演目：狂言「粟田口」山本東次郎

能「殺生石女体」友枝昭世

解説 馬場あき子

第48回川崎大師薪金

開催日：2023年6月1日（木）17時半開演

会場：大本山川崎大師平間寺 特設舞台

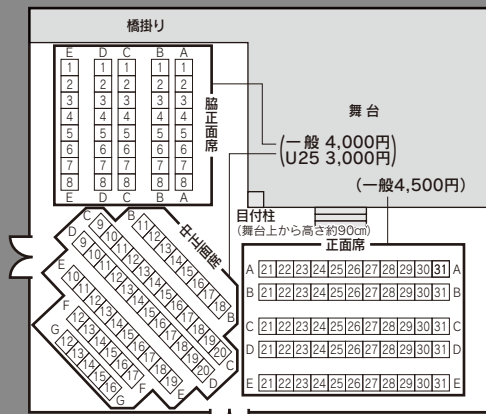
（雨天時：信徒会館）

第129回川崎市定期能

～観世流鏡仙会～

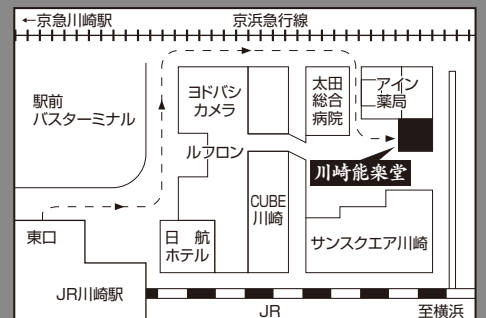
開催日：2023年8月予定

※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合もございますので予めご了承ください。



※U25券は臨正面席・中正面席のみ選択可。
※C列、E列は前の列より一段高くなっています。

川崎能楽堂座席表(148席)



JR川崎駅東口より徒歩5分

■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

川崎能楽堂 (9:00～17:00※水曜定休日)

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37

TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995



川崎能楽堂案内図